

2013. 5. 31 日本公衆衛生学会近畿地方会

高齢者ボランティア活動 の継続に必要な要因分析 と支援策の検討

**甲賀市役所 長寿福祉課
竜王 真紀**

甲賀市介護予防高齢者 ボランティアポイント制度とは

- 課題：高齢化が進む中で、介護保険にたよらない高齢者を増やすことが重要である。
- 目標：高齢者の社会参加、社会貢献が出来る場所をつくり、元気高齢者を増やすこと、閉じこもりを防ぐ。
- 高齢者の方が施設において、ボランティア活動に参加し、活動時間に応じてポイントをためていき地域の特産品と交換することができる事業

期待：継続的なボランティア活動になることを期待

高齢者の社会参加や地域貢献ができる事業

甲賀市介護予防高齢者 ボランティアポイント制度のしくみ

甲賀市
長寿福祉課

- ①申し込み
- ②登録・研修

ボランティア
65歳以上の高齢者

特産品販売店

- ⑤引換券との交換

特産物
との交換

③活動

④活動に応じた
ポイントを押す

受け入れ施設
事業所
介護保険施設
障害者施設 等

ボランティア活動1時間に1ポイント加算。一日2時間まで。ポイント交換は、年度に50ポイントを限度として、10ポイント毎に特産品1品をボランティアが選択する。



活動の様子



問題提起

高齢者が行うボランティア活動は、社会的役割を生み、自己効力感や生きがいづくりといったヘルスプロモーション活動の一つであるが、継続性に課題がある。

目 的

甲賀市介護予防ボランティア
アポイント制度(以下“活動”
という)に参加した活動者の実
績から、制度の目的である
『継続した社会参加』に必要
な要因を分析し、今後の支援
に活かしたいと考えた。

方法

甲賀市介護予防ボランティア
ポイント制度にて登録された
30名に対する①事前アンケート
と事後アンケートの比較

②交流会参加者18名からの意見
交換時の集団インタビュー

交流会の様子



「もっとたくさんポイントがたまればいいのに」
「施設だけでなく色々な所での活動がしたいわ」
「施設の職員さんはすごいな、若いのに・・・」「傾聴は難しい」
「男性が行きやすい場所がほしい」

結 果(質的に検証)

	A群(ポイント5点以下)	B群(ポイント20点以上)
事後アンケートより	<ul style="list-style-type: none">①体調不良、足腰の衰え②活動内容が自分に合わない(特に男性)③活動場所が遠い④高齢者への接し方の難しさ。	<ul style="list-style-type: none">①楽しい②よろこんでもらえることがうれしい③週に1回の頻度で活動内容が明確で自分が何をすることがわかりやすい
報告会交流会での意見	<ul style="list-style-type: none">・風邪をひいていから行きにくくなった・思ったより体に負担だった・施設から提示された活動内容が「こんなことは職員の仕事ではないか」との不満があった・もっとたくさんの行き場がほしい	<ul style="list-style-type: none">・活動から学ぶことがあった・情報交換会が良かった・3ヶ月目の事務局側からの状況確認の電話がよかった・人の役に立てることがうれしかった・多くの人がいけばいい・地域では交流が無いがこの参加で交流ができた・家族が自分をほめてくれた

高ポイント群の傾向

☆ “楽しい”

“人の役に立っている” 活動

☆ 無理なく、自分のペースで通える

☆ 集団での報告会や第三者による活動への支援やモニタリング電話は、お互いに聞きあい理解し合うこと

低ポイント群の傾向

・体調不良



- ・ 本人が健康問題を理由に活動できなくなった時のフォローが必要
- ・ 高齢者の健康状態を確認しつつ、本人にあった参加可能な活動に関する情報の提供、支援をしていくコーディネーターが必要

まとめ(活動を続けるための要因)

- ①健康である
- ②喜んでもらった実感と自信
- ③無理しないでがんばれる余裕
- ④自己肯定感
- ⑤集団でのエンパワメント
- ⑥相談ができるコーディネーターの存在
- ⑦ポイントという自分へのご褒美感

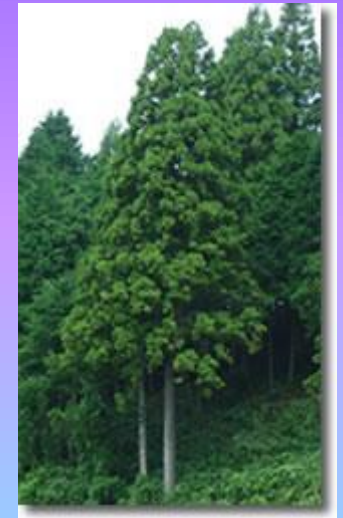
**様々な老いの過程にいる高齢者が
自分の存在をポジティブに認め、
自信となり(自己効力感)、
エンパワメントされ、
なりたい自分になれることに、
支援していききたい。**

ご清聴ありがとうございました。 ございました。

ささゆり



かわせみ



杉の木